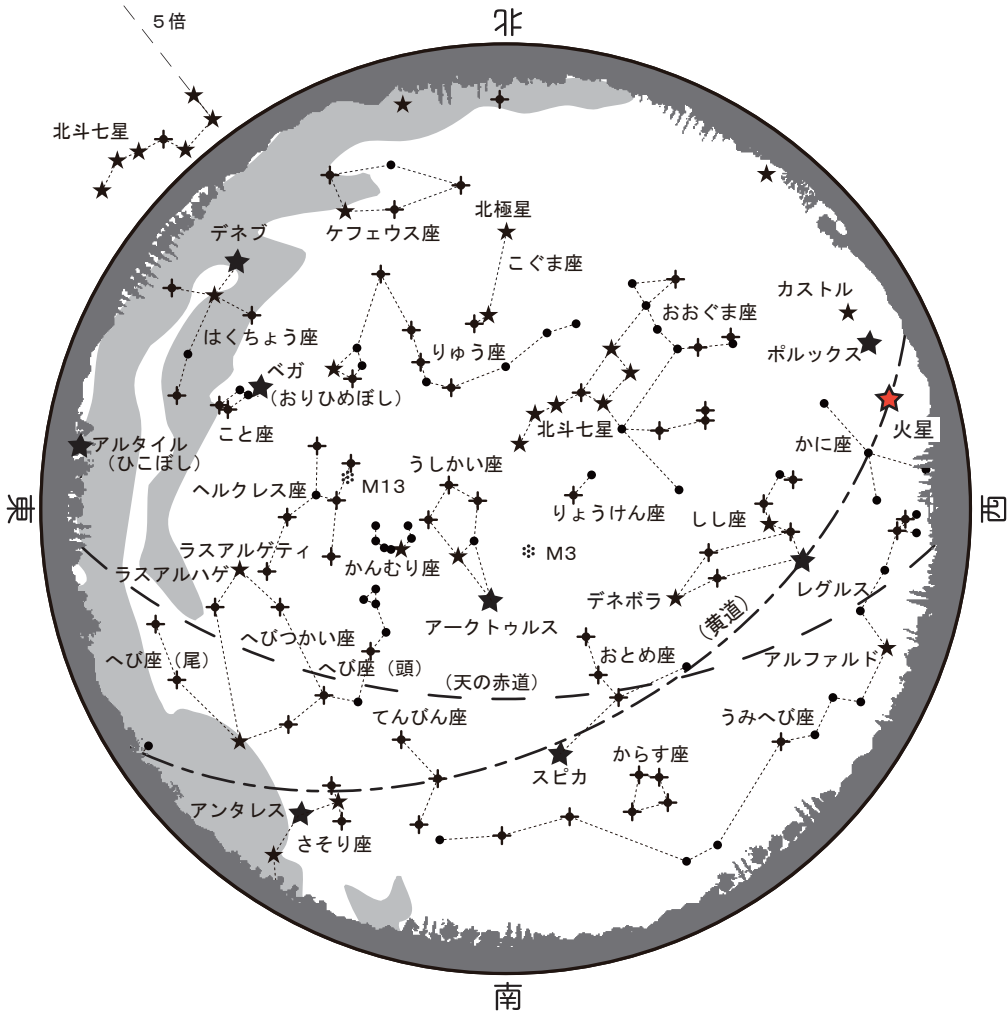


富山でみえる 2021年6月の星空

北極星の見つけ方

自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見てみよう。



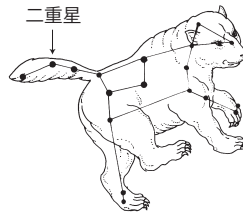
- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ※ 星団
- ☁ 星雲
- ☾ 銀河

～この星空が見えるのは～

- 6月 5日 午後9時ころ
- 6月 20日 午後8時ころ
- 7月 5日 午後7時ころ

～月のようす～

- 6月 2日 下弦 ○
- 6月 10日 新月 ●
- 6月 18日 上弦 ○
- 6月 25日 満月 ○



おおぐま座

ほっきよくせい さが めじるし ほくとしちせい
北極星を探す目印として有名な、ひしゃくの形の「北斗七星」

がある星座です。北斗七星は、おおぐまのおしりからしっぽの部分になります。ひしゃくの柄の端から2番目の星は、ミザールとアルコルという、肉眼でも分かる二重星です。



しし座

「？」マークを左右裏返しにしたような星の並びがしし座の目印で、「ししの大鎌」といいます。この大鎌のいちばん下で白く輝く星が1等星のレグルス、しっぽの星が2等星のデネボラです。今にもジャンプしそうな姿を星空に作ることができます。



うしかい座

とても明るく輝くオレンジ色の星アークトゥルスが目印の星座です。この星の明るさは0等星で、「熊の番人」という意味があります。日本では「むぎぼし」と呼んでいたところもあります。隣のりょうけん座は、この牛飼いが飼っている犬です。



おとめ座

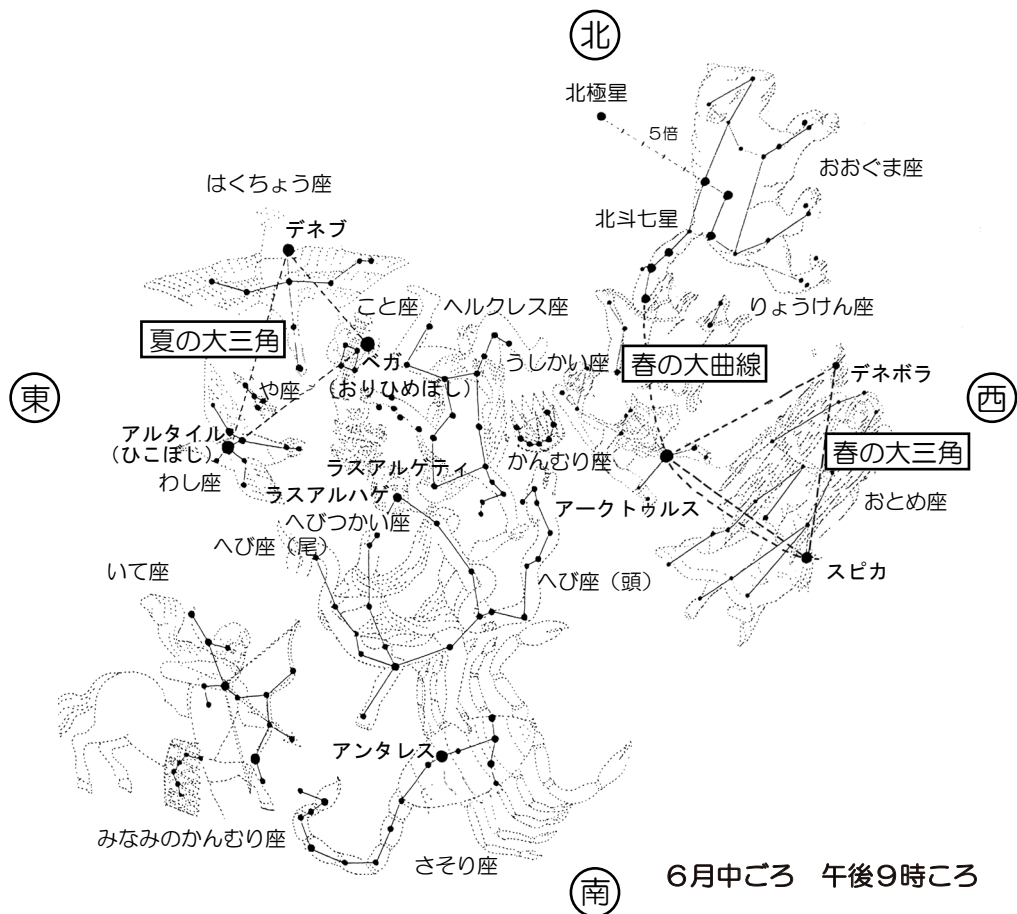
青白く輝く1等星のスピカがある星座です。この星座は農業の女神デーメーテルの姿とも言われ、左手に麦の穂を持っています。そこに輝いているのがスピカで、とがった麦の穂先という意味があります。



ヘルクレス座

ギリシャ神話の中でもたくさんの武勇伝をもつ英雄ヘラクレスが、星座となって頭の真上近くで輝いています。星座名はヘルクレスといい、その頭文字と同じHの形が目印の星座です。

春・夏の星座の見つけかた

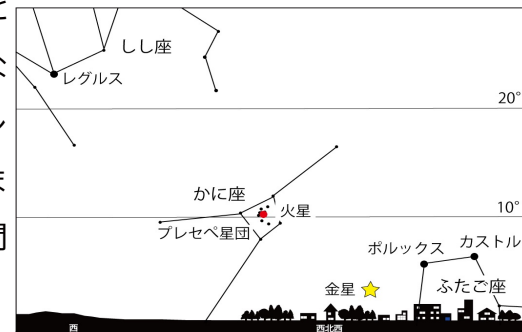


6月中ごろ 午後9時ごろ

- 1 北の空で、七つの星がひしゃくの形に並んだ「北斗七星」を見つけ、そこから北極星を見つけます。
- 2 北斗七星の、ひしゃくの持ち手のカーブを伸ばし、うしかい座のアルクトゥルス、おとめ座のスピカと続く「春の大曲線」を見つけます。
- 3 アルクトゥルス、スピカ、しし座のデネボラでつくる「春の大三角」を見つけます。
- 4 東の空に、青白くてとても明るい、こと座のベガを見つけます。それを手がかりとして、「夏の大三角」を見つけます。
- 5 南の空に、赤い星アンタレスと釣り針の形をしたさそり座を見つけます。

6月23日と24日はかに座のプレセペ星団と火星が重なる

かに座は、星占いの星座のひとつとして有名でありながら、明るい星がないため見つけにくい星座です。プレセペ星団はそんなかに座の中にあります。6月23日と24日の日没1時間後頃、宵の明星の金星が低空で輝き、すぐ左上に赤い火星がいます。この火星がプレセペ星団と重なり、とても興味深い様子が見られます。この様子は、双眼鏡や望遠鏡を使うと見ることができます。



6月23日20時30分頃

夜明け前の南の空で土星と木星に月が接近 5/31~6/2、6/27~6/30

6月の夜明け前、南の空では土星と木星が並んで輝きます。0.5等前後と穏やかに輝く土星と-2.5等前後で強く輝く木星とのコントラストが目を引きまます。5月31日から6月2日にかけてこの2つの惑星に月が近づきます。31日は半月(下弦)前の月が土星の右下にあります。翌1日になると月は土星と木星の間に移動し、さらに2日には木星の左下にまで移動します。このあと月は約1カ月かけて星空を一周し、6月27日から30日にかけて再び土星と木星に近づきます。月に比べて土星と木星の動きは小さいので、日に日に移動する月の動きをより実感することができます。

